令和〇年〇月〇日

**緊急時対応シミュレーション研修実施計画（案）**

○○学校○○部

１　目的

　茨城県AED等の普及促進に関する条例に基づき、学校の教育活動中における心臓突然死の事故を防止するため、心肺蘇生・AEDに関する研修を行うことで、有事の際に躊躇なく迅速に対応できるようにする。

　シミュレーション研修を通して、危機発生時の各職員の初動及び組織的な対応を確認し、緊急時にスムーズに対応できるようにする。

２　日時　令和〇年〇月〇日（〇）〇〇：○○～〇〇：○○

３　場所　○○室

４　準備物（研修方法に合わせて、必要なものを各学校で選択してください）

　資料（紙、パワーポイントファイル）

タブレット端末、大型モニター、ホワイトボード

　模造紙、付箋、ペン

５　研修方法

①グループを作り役割分担をする。役割は以下の中から選択する。

・話合いの進行、まとめ、記録等　１名

・担任（授業者）第一発見者　１名

・隣、近くのクラスの担任（授業者）　複数可

・他の児童生徒　複数可

・職員室にいる職員　複数可

・管理職　０～２名

・養護教諭　０～２名

②　実際の場面を想定し、誰がどのように動くかを考える。ブレインストーミングの要領で必要事項を出し合い、１つの行動につき１枚の付箋に記入し、役割ごとに時系列に並べる。

この際、①模造紙＆付箋＆ペン　②<https://www.sungrove.co.jp/google-jamboard/>Google　Jaｍboard(グーグルジャムボード)　③大きめに印刷したワークシート等　各学校で方法を選択してください。

③　パワーポイント資料（一次救命処置の流れ等）と、次頁の緊急時の対応例等を確認し、よりよい対応について協議を行う。

６　事前の準備

　・

　・

**事例の案（青文字は出題するときは伏せてください。）**

事例１（当該児童生徒の胸に、他者の肘が当たったことによる心室細動＝心停止）

11月下旬、５校時体育の授業中に、運動場でサッカーをしていた。

突然１人の児童生徒がその場に倒れ込んだ。

声をかけるが、いびきのような呼吸をしており、反応があるかどうか判断できない。

事例２（心室細動＝心停止　運動時に心停止になる確率は平常時の約17倍）

１月中旬、５校時体育の授業中に、長距離走をしていた。

突然１人の児童生徒が、ゴール直前に倒れ込んだ。

事例３（心室細動＝心停止　運動時に心停止になる確率は平常時の約17倍）

１月中旬、５校時体育の授業中に、長距離走をしていた。

外周道路を走っていた児童生徒が、倒れた。

事例４（食べ物がのどに詰まることによる窒息。間もなくして心停止。窒息には人工呼吸を含めた心肺蘇生が有効。異物除去の方法は要確認。）

給食の時間に、１人の児童生徒が食べ物を喉に詰まらせ、苦しそうにしている。

顔色が悪く、声を出すことができない。声を掛けているうちに、その場に倒れ込んでしまう。

事例５（食物アレルギーのアナフィラキシーショック。胸骨圧迫（人工呼吸）・AEDだけでなく、エピペンを必ず使用する。）

給食の時間に、１人の児童生徒が苦しそうにしている。

顔色が悪く、声を出すことができない。声を掛けているうちに、その場に倒れ込んでしまう。

**（例）模造紙を使用するバージョン**



模造紙を使用する場合は、付箋以外の部分を

先に記入しておく。

**（例）大きめに印刷したワークシート等を使用するバージョン**

シュミレーション研修　記録用紙（例）

事例

〇想定される動き

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 対応 |  |  |  |  |  |
|  | 第一発見者 | 管理職 | 教職員A | 教職員B | 他の児童生徒 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |